川口とは

「川口地域」は、新潟県のほぼ中央に位置し、大河「信濃川」と

清流「魚野川」の合流地点にあり二大河川形成する河岸段丘に拓けた

水と緑豊かな地域です。

　古くから舟運による妻有郷、上田郷への物資運搬の基点として、

また三国街道の宿場として集落を成し、交通の要塞として栄えてきました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＊川口観光協会ＨＰ引用

東川口

東川口は、魚野川右岸の河岸段丘にあたり、ＪＲ越後川口駅や公共施設の集中する中心市街地である。地域内には『延喜式神名帳』に魚沼郡五座の一つとして記されている「川合神社」があり、江戸時代には三国街道の参勤交代の宿場として栄えた。

西川口

西川口は、魚野川左岸と信濃川左岸に挟まれた農地及び住宅地が多くを占める地域で全国最大最古の簗場である「川口やな」、西倉地区の西瓜、荒屋地区の先土器時代の荒屋遺跡、川口小学校、川口中学校の教育施設も立地する。

中山

　　　川口町中部から東部の魚野川右岸の丘陵に位置する。えちごかわぐち温泉、ホテルサンローラ、川口運動公園や道の駅越後川口「あぐりの里」がある。

和南津

魚野川左岸に位置する。国道17号（和南津橋・和南津トンネル）、上越線（和南津トンネル）、上越新幹線（堀之内トンネル）がほぼ一箇所に集まる交通の要衝である。古事記の「和那美之水門」は和南津地域のという説もある。

牛ケ島

　　　川口町北部の信濃川右岸に位置する。県内初の水力発電所の遺構もある。「河岸段丘」：絶景観：富岡惣一郎（トミオカホワイト）の画で有名。

木沢

北部の山地に位置する。棚田に代表される日本原風景を残し絶景ポイントである。

武道窪

川口町北部の山地に位置する。平成16年中越大震災の「震央」：世界最大震度地点

田麦山

川口町南部の山地に位置する。川口町の南側のほぼ半分を占める。西を小千谷市・十日町市、東を魚沼市に挟まれる。田麦山小学校があったが、川口小学校と統合した。

「油田」：記念碑

相川

「錦鯉」：小千谷、山古志とともに発祥の地

貝の沢

荒谷

「錦鯉」：小千谷、山古志とともに発祥の地